

園児・児童・生徒の熱中症対策について

Q 近年、全国的に猛暑が続く中、児童・生徒の保護者から、熱中症への心配の声が寄せられている。市内の保育所、幼稚園、小・中学校におけるエアコンの設置状況は。

A 幼稚園、小・中学校、認定こども園や保育所の普通教室のエアコン設置率は100%です。幼稚園や認定こども園、保育所は、普通教室以外の部屋の90%以上に設置されていますが、小・中学校の特別教室の設置率は、小学校27%、中学校28%です。

Q 市内各中学校の夏休み中の部活動はどのように行われ、また、教育委員会として熱中症対策をどのように指導しているのか。

A 校長が認めた練習計画に従い、練習時間は午前または、午後のいずれかとしています。練習前に必ず顧問による健康観察を行い、計画的な水分補給や休憩を必ず取り入れています。環境省が示す暑さ指数を確認し、練習実施の有無を適切に判断することを指導しています。



たかぎ ひろし 高木 寛 議員

Q 市内各学校の運動会・体育祭の開催時期は。9月開催の場合は熱中症が懸念されるが、その対策は。

A 21校のうち、4校が5月、17校が9月開催です。練習前の健康観察、計画的な水分補給、休憩に加え、演技種目の選定や



エアコンの設置で授業にも集中(新島小学校)

必要に応じた練習時間の短縮など、各学校の実態に即した対応を指導しています。

主要地方道旭小見川線の歩道整備について

Q この道路の山田地区小見・竹之内・田部地先の歩道整備の現状は。

A 道路管理者である県香取土木事務所に確認したところ、主要地方道旭小見川線の佐原山田線交差点から、市道I-54号線の府馬地先交差点部までの2.6kmのうち、歩道整備済み延長が片側のみも含めて、約1.4kmです。残りの延長約1.2kmが未整備区間で、歩道整備率は約54%です。

Q この歩道整備は何度も要望してきた。今後の整備予定は。

A 県香取土木事務所に伺ったところ、現在、整備予定は無いとのことでした。また、県道の歩道整備は、県全体から見た交通量、必要性を勘案し、順次整備しているところで、小学校の通学路かつ市町村の通学路交通安全プログラムの指定箇所、地元協力が得られる箇所を優先して整備しているとの回答がありました。

津宮・香取・大倉小学校へ放課後児童クラブ設置を

Q 共働き家庭やひとり親家庭への支援策の必要性を十分認識し、アンケート調査を実施後、学童(放課後児童クラブ)を検討することだったが、結果は。

A 放課後児童クラブの利用希望は、回答いただいた140世帯中、ほぼ毎日



くぼき そういち 久保木 宗一 議員

利用したいが14世帯、長期休業時のみ利用したいが39世帯、利用希望はないが66世帯でした。この地域に限らず未整備地域の的確な利用希望者の把握に努め、今後の整備方針を決定していきます。

大倉排水機場は市が責任を持つべき

Q 大倉排水機場は、津宮・大倉地区の水害対策に重要な役割があるが老朽化し危険な状態である。現在は農林水産省の補助事業で改修するしかないが、補助金は、国50%、県35%、地元負担15%である。県内で地元負担を全額地元市町村が支出している事例は。

A 県内では、湛水防除事業として、成田区と白子町が実施しています。この地区は、流域面積が広範囲で、不特定地区からの流入や、公共性があること、排水機場の管理予定者が市町であることから地元負担分は、全額を市町が、もしくは受益面積割で各

高速バスに定期券は必要 今回のバスターミナルの整備内容は

Q 通勤通学時間等の短縮の必要性から高速バスの利用者が増加している。その第一希望が定期券の導入である。バスターミナルの整備、便数の増加と併せて検討することのだが、設計補正予算の金額と内容は。

A 設計の補正予算額は、バスターミナル実施設計委託費等で総額5275万6千円です。JR佐原駅南口と北口を結ぶ跨線人道橋の西側にバスターミナルを整備予定で、面積は、3600㎡です。屋根付きバス乗降場2カ所、バス待機場2台分、屋根付きタクシー乗り場1カ所を計画しています。